

セキュリティエンジニアの世界

体験してみよう!

初心者向け
ワークショップ



自宅パソコンが勝手に遠隔操作!? 学校パソコンの情報が勝手に暗号化された!?
サイバーセキュリティ技術を体験して、自分で身を守る方法を一緒に学びましょう。



左にあるQRコードから、ワークショップで体験する【例題】を見てみよう!
【例題】のヒントと解説もあるよ

日時

1月29日(土)
13:00-17:00

サポートがあるから
初めてでも大丈夫!

参加費
無料



会場

鯖江公民館 (福井県鯖江市桜町1丁目1-16)

対象

中学・高校・高専・専門・大学生

定員

30名・申込み先着順

申込み

Webサイトのお申込みフォームに、必要事項を入力してお申込みください。

URL

<https://ict4e.jp/entry202201>

締切

2022年1月11日(火)

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては開催方法が変更となる場合があります。
※参加される方は、ワークショップで体験する簡単な問題を事前にお送りします。



チームで
参加もできるよ



- (主催) 総務省北陸総合通信局 / 北陸サイバーセキュリティ連絡会
(共催) 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局 (近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)
(後援) 鯖江市 / 鯖江市教育委員会 / 福井工業高等専門学校 / 北陸情報通信協議会
(後援予定) 福井県教育委員会 (運営委託) 株式会社 ict4e



「体験してみよう!セキュリティエンジニアの世界」

どんなことを体験するの?



今回のワークショップでは、会場に用意されたパソコンを使ってCTFと呼ばれるクイズ形式の演習を体験してもらいます。CTFとは「Capture The Flag」の略で旗取りゲームのことです。個人やチームで参加し、専門知識や技術を使って隠されている答えを見つけ出し、獲得した合計点数を競います。問題を解いていくことでサイバーセキュリティを学ぶことができます。※当日はスタッフと講師のサポートがあります。CTFが初めての未経験者でも安心して参加してください。



昨年のように▲

タイムスケジュール

12:30	開場
13:00	開会あいさつ
13:10~14:00	講演 (丹 康雄 氏、川口 洋 氏)
講演テーマ	「プロに聞く、セキュリティエンジニアの目指し方」
14:00~14:30	ワークショップの導入と説明
14:40~16:00	CTFワークショップ (齊藤 徹 氏)
16:10~16:50	総括・表彰式
16:50	閉会

講師紹介



丹 康雄 氏

北陸先端科学技術大学院大学 副学長
先端科学技術研究科 情報系 教授

IoTに関する研究、標準化に従事。セキュリティ分野では、大学における人材育成のほか、国のIoTセキュリティガイドラインや、JEITAおよびCCDSIにおけるスマートホーム分野のセキュリティガイドラインの制定に携わる。



川口 洋 氏

株式会社川口設計 代表取締役
(保有資格: CISSP、CEH)

2013年から2016年まで内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)に出向。行政機関のセキュリティインシデントの対応、一般国民向け普及啓発活動などに従事。現在では、企業や警察などの官公庁でサイバーセキュリティアドバイザーを務める。



齊藤 徹 氏

福井工業高等専門学校
電子情報工学科 教授

福井高専にて、主にプログラミング関係の授業を担当。Webが普及するところから福井高専のインターネット環境の構築を行う。丹南地区の小中学校向け緊急連絡システムを運用している。

お申込み・お問い合わせ

下記URLもしくはQRコードのフォームより必要事項を入力して、お申込みください。申込み先着順になりますので、お早めにお申込みください。

<https://ict4e.jp/entry202201>

(お問い合わせ先: entry202201@ict4e.jp)



同日開催イベント

※「体験してみよう!セキュリティエンジニアの世界」とは別のお申込みとなります。下記QRコードよりお申込みください。

さばえIT推進フォーラム アイデアソン2022

「テクノロジーで市民活動 シビックテックとオープンデータ」

参加無料
— 先着 —
30名

シビックテックについて、オープンデータ伝道師福野さんより説明後、参加者とアイデアソンを実施。参加者で身近な地域課題を発見してもらい、それを解決するためのアイデアと、実現させるために必要なデータを提案します。

1月29日(土) 10:00~11:30

場 所 | 鯖江公民館

申込み締切 | 2022年1月25日(火)

申込みはこちら

